



栗 山



学 校 だ よ り
学校運営協議会だより

校訓：誠実・自律・調和

令和7年10月22日

第10月号

八王子市立浅川中学校



「福島での学び」を自分事として

～自分も他人も大切に、しなやかにたくましく生きる力を育む～

校長 市場 陽一郎

秋の深まりを金木犀の香りが感じさせています。私は昔からこの金木犀の花の匂いがしてくると手のひらに汗が滲むような感覚になります。それは小学生の時から教員となって今に至るまで、秋になると運動会、部活動新人大会、駅伝大会、合唱コンクールなど緊張し心を動かされることが多かったからでしょうか。特に音楽祭での合唱はそれまでのクラスでの取り組みが課題曲と自由曲の2曲10分で評価されるものでもあり、この季節の花の匂いとともに緊張感や高揚感が呼び起こされるのでしょう。今、生徒たちは懸命にクラスの合唱づくりに取り組んでいます。音楽祭当日は、仲間と共に歌い切った後の生徒たちの輝く笑顔を目に焼き付けたいと思っています。

浅川中の生徒が様々なことを自分事として考え、行動できる人間に成長するための行事である福島移動教室は、今年も浅中生（二年生）を大きく成長させる学びの機会となりました。様々な場面で、自分以外の人のことを自分事として想像し、もっと優しくなるためのものであり、大きな災害を経て、復興を目指し今そこで暮らす人々を訪ね、「見て、聴いて、感じて、考える」貴重な体験となりました。学校に戻った生徒たちの作文には福島でのそれぞれの思いが溢れていました。福島での学びは、時に辛く重たい気持ちにもなることもあったことでしょう。しかし、生きていることの大切さや素晴らしさに気づき、福島の人々が将来のために懸命に取り組む前を向いて生きようとされている思いを感じるなど、大きな学びがそこにはあったはずです。これまでの先輩たちがそうであったように、この体験が浅川の二年生を一回りも二回りも大きくし、更に優しく、強くするものと信じています。

今年の3月に福島県「子どもの心のサポートチーム」（東日本大震災後の子どもたちの心のケアや健やかに育つための支援についての協議会）が『ふくしま型レジリエンス』という提言を公表しました。この協議会において子どもたちの今を確認する中で、近年になり子どもたちに育まれてきた力が明らかになったそうです。その力とは、「ふくしまに誇りを持ち、しなやかにたくましく生きる力」で、それを『ふくしま型レジリエンス』の定義としました。それが育まれている子どもたちの姿として、の6つの姿が挙げられていました。（出典「月刊日本教育」日本教育会発行）

- | | |
|--------------------|----------------------|
| ① 自分を大切にし、健やかに過ごす姿 | ② 困っている時には、助けを求める姿 |
| ③ 周囲の人と協力し、支え合う姿 | ④ 感謝の気持ちを忘れず、優しく接する姿 |
| ⑤ 困難に立ち向かう姿 | ⑥ 経験から学び、挑戦し続ける姿 |



この力は福島だけではなく日本、そして世界で起こる様々な問題に立ち向かう力にもなることも述べられていました。まさに、本校が目指す『もっと優しく、もっと強い浅中生』の姿そのものであると言えます。高尾山の麓にあるここ浅川中で、これからも福島での学びを生かし、日々の学び合う授業や学校生活で優しさや思いやる心、音楽祭をはじめとする行事での協働意識等々を育みます。そしてこれらを通して、自分も他人も大切にして困難に負けずに挑戦することのできる生徒の育成に取り組んでいきます。

写真：大平山霊園慰霊碑の前で（浪江町請戸） R7.10.1





まなびの杜あさかわ《 浅川中学校運営協議会の広報ページ 》

第8回 学校運営協議会報告 日時：令和7年10月9日（木）19：00～ 被服室

1. 会長あいさつ

先月は小中合同会議では有意義な話し合いができました。年に1回の音楽祭を楽しみにしています。久々に英検の試験監督をさせていただき、とても緊張しました。子供たちは真面目に取り組んでいました。私語もなく浅川中の生徒達は大変真面目です。普段、別室でも不登校の関わりを持っていますが、ほんとに良い子ばかりです。

2. 各部会（中学校）

- ①評価部 授業のアンケートの回答率があまり良くありませんでした。欠席している生徒にも声掛けが必要と考えられます。
- ②支援部 図書ボランティア、Eてらこや、花壇の手入れ等の予定について報告がありました。
- ③総務部 部活紹介リーフレットを作成しますので、活動形態等について11月7日までに先生方へ入力をお願いしています。
生徒会役員との懇談会を行います。生徒会の担当の先生方と日程を相談したいと思います。（11月25日、または12月1日）
- ④漢検担当 第2回漢検は11月7日（金）実施予定。申し込み状況41名。
- ⑤英検担当 第2回英検は9月26日（金）実施。準2級10名、3級14名、4級13名受検。
2次試験は11月9日（日）。
- ⑥事務局 学校だより10月号の発行は10月22日（水）の予定。

3. 学校の様子など

①副校長より

先月の小中合同会議はとても有意義なものとなりました。お礼を申し上げます。キャリア教育に関しては、地域の強みを出して行っていききたいと思います。先日の中一貫教育の日にも、小学校と情報共有しました。小学校で学んだ高尾山学習の事を中学校にうまく接続して学習を深めていききたいと思います。

9月12日から9月14日に3年生が奈良京都に修学旅行に行ってきました。天気にも恵まれました。3年生としての成長が見られました。一方で、1年生の栗山下草刈りが中止になりました。11月のクリーン活動では下草刈りに、林を作るコミュニティの方に来ていただき、従来の下草刈りよりも縮小した形になりますが、実施したいと思います。

10月1日から10月3日には、2年生が福島移動教室に行ってきました。「メリハリをつけた行動」をスローガンに声を掛け合っていました。はじめは注意を受けていましたが、後半からはよくなっていきました。2年生も成長できたと思います。音楽祭の練習がはじまりましたが、まだ始まったばかりですが頑張っています。これから、まとまていくと思います。10月24日（金）に実施となります。

②生活指導主任より：篠田先生

生徒にアンケートを毎月実施しています。他県で、いじめを訴えていたのに、見過ごしていたという事例がありました。いじめは見過ごさないようにしていきたいと思いますので、ご家庭でも何かあれば申し出てくださいと思います。

③各学年より

1年生：福嶋先生

2学期になり、だいぶ学校に慣れてきました。ケガをしたり、給食の残りがトイレにあったり、掃除用具破損など様々な面で生活指導を行いました。今後の学校生活について作文を書かせたのですが、良いことがたくさん書かれていました。少しの声かけで気づけるようになりました。現在、はじめての音楽祭にむけて頑張っています。家族の問題や、クラスになじめなくて悩んでいる生徒のSOSにしっかり気づいていきたいと思っています。

2年生：越後谷先生

福島移動教室が無事に終わりました。初日の朝は大変テンション高かったのですが、現地に着くと気持ちを切り替えていました。震災遺構の請戸小学校など、目の前でよく見て、学んだことも、自分の言葉で表現していて、とても良かったです。しっかりと成長していることを実感できました。初日に雨がふっていましたが、しっかりと良い雰囲気を出していました。ハワイアンズのプールでは、はしゃぎすぎてしまい、宿舎の人から注意を受けました。公共の場での行動を、改めないといけないことがわかりました。11月の下旬には、職場体験があるので、そこにしっかりとつなげていきたいと思っています。

3年生：小山内先生

3年生は、修学旅行に行ってきました。奈良に一泊、京都に一泊まるという形で行いました。奈良には京都にはない良さがありますので、生徒は良い体験ができたと思います。薬師寺では、名物の説法をききました。若草山では、みんなできれいな景色をみました。バスから降りると雨が止んで、夕日や夜景が見れました。何か一つのを共有する良さを体験できたと思います。京都の座禅体験では、30分以上の正座をして、良い思い出になりました。班でうまくいかないこともあったと思いますが、仲間を思いやりながら行動し、最後にはうまくまとまりました。修学旅行、音楽祭と行事に取り組みながら、勉強もしっかりとしています。

4. 議題

- ・秋の文化展のポスターができました。（11月1日～2日 浅川市民センター）
- ・浅川地区ふれあいコンサートにて陵南中・浅川中吹奏楽部合同演奏（12月21日 浅川市民センター）
- ・次回の学校運営協議会 11月6日（木）19：00 被服室



生徒会役員選挙

9月18日(木)、生徒会役員選挙が行われました。生徒会の一員として、生徒会の組織づくりに参画し、学校生活の充実や向上を目指す態度を育てます。当日は八王子市選挙管理委員会から投票箱を借用し、本格的な投票となりました。いよいよ2年生が中心として生徒会が動き出しました。

小中一貫教育の日

10月8日(水)、小中一貫教育の取組として、浅川小学校に本校の教員が訪問し、授業を見学させていただきました。授業の後には、今後の小中学校の取組について、キャリア教育や学習、生活等、各分科会に分かれて、小学校の先生方と話し合いました。大変有意義な研修会となりました。今後とも、小学校との連携を深めて、より良い教育環境づくりをしていきたい思います。



音楽祭準備期間

10月7日(火)から令和7年度音楽祭(10月24日(金))に向けた準備が始まりました。合唱の練習に真剣な表情で取り組む様子が校内の各場所で見られています。本番間近となって、各クラス仕上げに入っています。

生徒会朝礼

10月10日(金)、生徒会朝礼が行われました。各専門委員会から前期のまとめの発表がありました。

整美委員会からは、「学校をしっかりと綺麗にしていこう」という呼びかけが寸劇を交えてありました。保健委員会からはインフルエンザなど感染症の流行についての注意がありました。

10月の生活目標は「あなたの秋を」です。「秋といえばなんですか?」いろいろありますが、思い浮かべることは、一人一人ちがいが、一つにはなりません。秋はあっという間に終わってしまいます。あなただけの秋を全力で過ごしてください。しかし、音楽祭では、あなたの秋がみんなの秋と交わり、一つになっていくことで、素敵なものになるのではないのでしょうか?と、生徒会より発表がありました。

音楽祭実行委員会からは、音楽祭のスローガン「唱タイム～一人一人ちがうけど、みんな同じ～」の発表がありました。また、音楽祭のイメージ画の教員賞、実行委員賞、最優秀賞の発表が行われました。最優秀賞はプログラムの表紙として採用されます。



大研究授業



10月10日(金)、今年度、2回目の大研究授業を実施しました。対象は1年生で、教科は国語、題材は竹取物語でした。講師として國學院大学の齋藤智哉教授にお越しいただきました。齋藤先生には『学び合う授業づくり』について継続して、御指導いただいています。今回も学校全体の授業も見いただき、御助言をいただきました。また、学び合う授業づくりを進めている浅川中の研究授業を見るために、遠く京都の先生方のご参観もあり、情報を共有するとともに、ご感想もいただきました。浅川小学校の先生方にもお忙しい中、参加していただきました。協議会では、意見交流が行われた後、齋藤先生から指導講評をいただきました。この研修を通して学びを深め、大変に有意義なものとなりました。

表彰

- 【美術部】八王子商工会議所・八王子ファッション都市協議会Tシャツデザイン画100選コンテスト中学生部門
八王子市教育委員会教育長賞 金子彩愛(3年)
入選:阿部八千穂(3年)、中村杏(1年)
- 【陸上部】第76回 はちおうじT&Fトライアル 男子中学1年100m 第6位 清水輝行
- 【陸上部】八王子市中学校陸上競技大会
女子中学2年100mH 第7位 高橋香帆
女子中学1・2年800m 第7位 堀田真由
男子中学共通 3000m 第4位 鈴木颯人(2年)
男子中学2年 1500m 第1位 鈴木颯人
男子中学2年 100m 第6位 井崎角祐
男子中学1年 100m 第4位 清水輝行
女子中学1年 4×100m 第4位 澤村旺佳 堀田真由 遠藤心晴 重松麻陽
男子中学1年 4×100m 第3位 溝口泰世 鈴木七翔 櫻井新 清水輝行
- 2025年度第12回JPTA ALL JAPAN JUNIOR TENNIS TOURNAMENT U14関東地区大会 大村菜々(2年)
- 第47回八王子市柔道連盟少年柔道優勝大会 中学1年生女子の部 第3位 今富瑠咲(1年)
- 第39回高尾の森少年柔道 東京都中学校多摩ブロック新人大会 女子40Kg級 第3位 今富瑠咲(1年)
- 第36回高尾の森少年柔道 東京都中学校多摩ブロック体重別女子柔道大会 女子40Kg級 第3位 今富瑠咲(1年)
- 第67回市民スポーツ大会 柔道中学女子の部 優勝 今富瑠咲(1年)

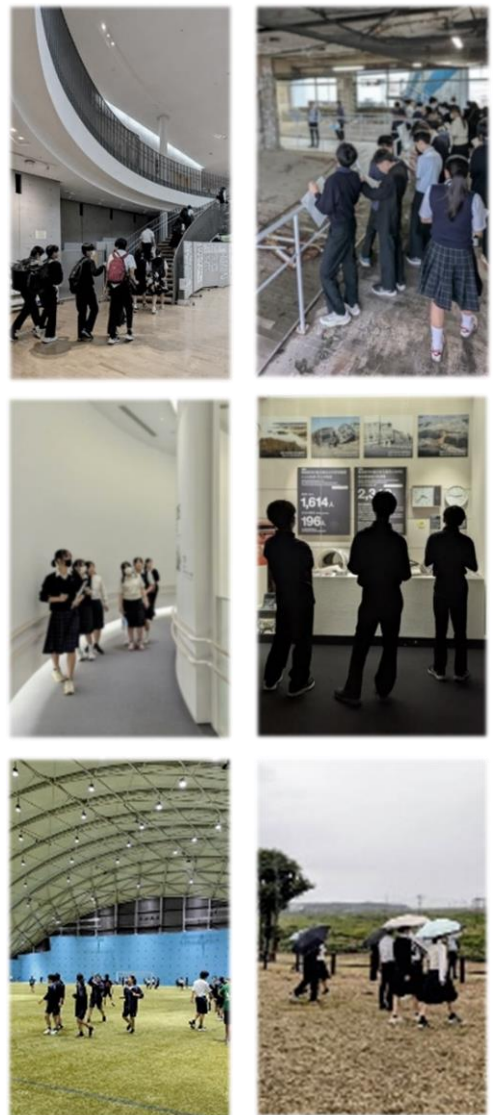
訃報

四年前から本校のバスケットボール部の指導をしていただいた石川淳一先生が急逝されました。石川先生は八王子高校バスケットボール部を全国優勝に導かれた指導者であり、退職後本校の生徒たちに熱心にご指導いただきました。謹んでご冥福をお祈りいたします。

百聞は一見にしかず ～福島移動教室をとおして～

今年度の学年行事の中でもっとも大きな行事が終わりました。生徒たちは震災学習を含めた多くの学びの時間を過ごすことができました。行きのバス車内は遠足のような雰囲気でしたが、現地に到着するときちゃんと気持ちをつくり直し、真剣な姿勢に転じました。原子力災害伝承館での見学の姿勢、浪江町立請戸小学校での過ごし方、大平山霊園での真剣なまなざしなど、現地で感じ考え、自分の言葉にしようとする姿勢は、非常に素晴らしかったです。私たち教員もその姿を後ろから見ていて、とても頼もしく感じました。この子たちは必ず良い大人になると信じさせてくれる光景でありました。初日は雨天ではありましたが、逆にそれがしっとりとした雰囲気を与え、生徒たちの学びに一役買っていたように感じています。また楽しむ場面では存分に楽しんでいました。初日のJヴィレッジ全天候型サッカー場での学年レク、2日目のハワイアンズでのひとときと美味しい食事、3日目のアクアマリン福島の見学などにおける、シリアスな震災学習と対をなす場面でも、子どもたちは価値ある時間を過ごすことができたと思います。もちろん課題が全くなかったわけではありません。公共の場での立ち居振る舞いなど、周囲への配慮が足りないこともありました。そのことも含めて、これらの取組を次の行動につなげていくことができるか。これがとても大切になっていきます。今学期はまだ音楽祭、職場体験が続いていきます。後期の委員会も始まり、2年生が各委員会の委員長になっていきます。この福島移動教室をとおして学んだたくさんの方の事を活かしながら、2年生たちはさらに前に進んでいきます。これからの生徒たちの活躍に期待していきたいと思います。

(第2学年主任 越後谷太郎)



福島移動教室～自分事として捉える～

10月1日から3日まで福島県にて3日間の移動教室を行ってきました。私は移動教室の実行委員の担当として、実行委員の生徒とともに準備を進めてまいりました。最初の実行委員会で実行委員の生徒が大切にしたいと言っていたことは「自分事として捉える」「メリハリをもつ」でした。学年の普段の様子を見ていて、実行委員の大切にしたいと言っていることが移動教室で見ることができるか不安でもあり、楽しみでもありました。福島県にて様々な震災学習を行う中で、衝撃を受けている姿、真剣にノートを取る姿、今後どのように自分の人生に生かしていくかなど自分事として受け止めている生徒がとても多く、充実した学習になったと思います。1日目のJヴィレッジの全天候型練習場では、震災講話は真剣に聞き、そのあとの学年レクでは実行委員が考えた逃走中とPK戦を全力で楽しむ姿などメリハリを持って取り組めていました。しかし2日目のハワイアンズでは楽しみすぎてしまい節度や時間を守れない生徒が複数いました。その夜の室長会議にてメリハリをもつことを再確認し、3日目のアクアマリンふくしまでは実行委員だけではなく一人一人が意識をし、全員が2日目の課題を克服することができました。実行委員が目標にしていた「自分事」「メリハリ」を全員が達成できた移動教室になったと思います。この経験を今後の行事や来年の修学旅行でも見せてくれることを期待したいです。

(第2学年福島移動教室担当：神宮寺航)

